

こんにちは 豊前市議会です



No. 83
平成26年2月

目次
CONTENTS

議案の概要…………… 2 P
 平成25年度12月定例会 議案審議結果…………… 2～3 P
 一般質問…………… 4～12 P
 議会報告会…………… 13 P
 トピックス・編集後記…………… 14 P

市議会の本会議を インターネットで中継

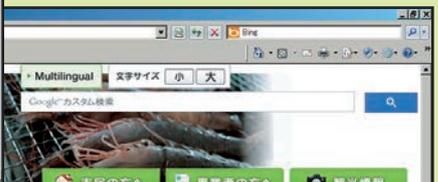
生中継・
録画中継
どちらも

アドレスは <http://www.buzen-city.stream.jfit.co.jp/>

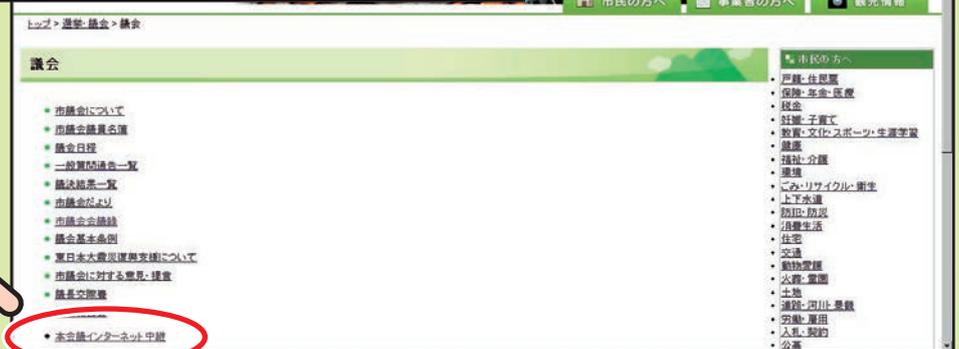
「豊前市公式ホームページ」または「豊前市議会ホームページ」からリンクしてください。



「豊前市公式ホームページ」の
ここをクリック



「豊前市議会ホームページ」の
ここをクリック



議会へのご意見をお寄せ下さい

■発行／豊前市議会
 ■豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
 ■ホームページ／<http://www.city.buzen.lg.jp>

議案の概要

平成25年第4回定例会は、12月3日から12月19日までの17日間の予定でありましたが、議案の訂正・撤回等のため、会期の延長がなされ12月24日に閉会しました。

本定例会には当初、条例15件、予算2件、その他の案件6件の合わせて23議案が提案されましたが、訂正、撤回、追加上程がなされ最終的には26議案がそれぞれ所管の常任委員会で審査され、すべての議案が原案どおり可決されました。

なお、市長より教育委員の任命及び公平委員の選任案が出され、市長提案のとおりそれぞれ同意されました。

同意案件

市長の提案に対し、全会一致で同意しました。(敬称略)

■教育委員会委員(任期4年)

豊前市大字四郎丸

上森 哲生

■公平委員会委員(任期は前任者の残任期約3年5か月)

豊前市大字八屋

中野 和俊

中野 和俊

選挙による農業委員定数3名削減(17名⇒14名)

高齢化に伴う農業者数の減少及び農地面積の減少に伴い、農業委員会の選挙区における選挙すべき委員の定数を17名から14名に3名減とする条例改正案が提案され、採決の結果、賛成多数で可決されました。

市職員再任用制度の導入へ

年金の支給開始年齢が段階的に引き上げられることに伴い、民間企業は退職年齢の引上げが行われますが、公務員については閣議決定により再任用制度で対応することになりました。国の意向を踏まえた改正であり、全会一致で可決されました。

消費税の算定方法を巡り関連4議案が訂正・撤回

来年4月からの消費税税率引上げに伴う公共施設の使用料等を改定する議案が市長より提出されました。執行部側は消費税を転嫁する際に10円未満を四捨五入していましたが、付託された委員会で行政財産使用料条例では切り捨てること明確に規定しているため整合性がないとの指摘をしました。

また、求菩提キャンプ場で新たに導入するログハウス等のデイキャンプ(日帰り使用)の時間及び使用料に関しても、委員会審査の中で「デイキャンプは使用時間が短いのに宿泊に比べて使用料が高すぎる」、「使用時間が重複しているため施設を有効に使えていない」などと指摘をしました。

これらの指摘を受け、市長は議案を訂正又は撤回の上、再提出しました。訂正後又は再提出後の議案は、委員会での指摘に即した改正となっていたため、原案どおり可決されました。

平成25年12月定例会 議案審議結果

「○」……賛成 「●」……反対
「議長」……議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	黒江	平田	安江	鈴木	福井	鎌田	岡本	榎本	尾澤	山崎	爪丸	宮田	磯永	渡邊	秋成	賛成	反対
			哲文	精一	千賀夫	正博	昌文	晃二	清靖	義憲	満治	廣美	裕和	精一	優二	一	茂信	成	
議案第66号	豊前市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第67号	豊前市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第68号	豊前市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第69号	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第70号	豊前市職員退職手当支給条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0

平成25年12月定例会 議案審議結果

「○」……賛成 「●」……反対
「議長」……議長職のため表決に参加しない

議案 番号	議案等の名称	審議 結果	黒江	平田	安江	鈴木	福井	鎌田	岡本	榎本	尾澤	山崎	爪丸	宮田	磯永	渡邊	秋成	賛	反
			哲文	精一	千賀夫	正博	昌文	晃二	清靖	義憲	満治	廣美	裕和	精一	優二	一	茂信	成	対
議案第71号	豊前市税外収入滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第72号	豊前市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第73号	豊前市観光施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
議案第74号	豊前市農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	欠席	○	12	1
議案第75号	豊前市農業委員会委員の選挙区及び選挙区において選挙すべき委員の数に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
議案第76号	豊前市地域住民交流センターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
議案第77号	豊前市学習等共用施設使用条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
議案第78号	豊前市新規就農者研修資金貸与条例の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第79号	消費税法及び地方税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	撤回	撤回することに全会一致で承認																
議案第80号	豊前市子ども・子育て会議条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第81号	字の区域の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第82号	豊前市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第83号	豊前市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第84号	京築広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び京築広域市町村圏事務組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第85号	京築広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第86号	中津市との間において締結した定住自立圏の形成に関する協定の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第87号	平成25年度豊前市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第88号	平成25年豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第89号	豊前市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
議案第90号	豊前市行政財産使用料条例及び豊前市集会所条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
議案第91号	豊前市総合福祉センター設置及び管理運営に関する条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
議案第92号	豊前市山村振興施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
同意案第4号	豊前市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	○	13	0
同意案第5号	豊前市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0

※議案第73・75・76号については、訂正後の議案の審議結果です。

一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『豊友会』の一般質問



磯永 優二



榎本 義憲



鎌田 晃二

【質問項目】

- ① ピロリ菌除菌
- ② 市営住宅
- ③ 職員の持家住宅手当
- ④ 市長の退職金
- ⑤ 婚活支援
- ⑥ 空き家対策
- ⑦ 健康情報等を活用したデータヘルスの推進
- ⑧ 市民サービスのあり方

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

ピロリ菌除菌で 胃がんの防止を

鎌田議員 ピロリ菌に感

染すると100%慢性胃炎になり、その約80%が委縮性胃炎を発症し、がんのリスクが増えると言われている。2月から慢性胃炎に対するピロリ菌除菌が保険適用となった。執行部はピロリ菌除菌についてどのように考えているのか伺いたい。

市民健康課長 がんは複数のリスクが重なって起こることということで、はっきりとした因果関係はまだ不明だ。しかし、最近の研究ではピロリ菌除菌で胃がんのリスクが軽減されるとの研究成果もあるようだ。

鎌田議員 田川郡添田町では九州で初めて住民健診でピロリ菌検査を導入し、川崎町でも無料で検査を実施している。全国的に取組みが始まっているようだが、豊前市でも実施する考えはないのか伺いたい。

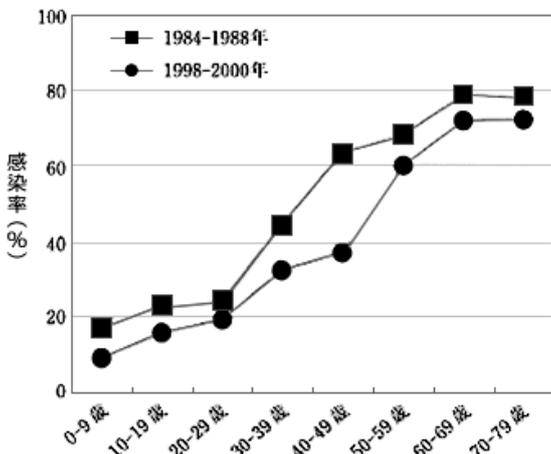
市民健康課長 県内では添田町、川崎町をはじめ久留米市、大川市、大木町でピロリ菌検査を実施しており、豊前市においても現在検査を検討しているところだ。

鎌田議員 子どもの頃に衛生状態のよくない水を飲んだことでピロリ菌に感染すると考えられているが、水道水が普及した今でも10代、20代で10%

程度が感染しているようだ。早期除菌が胃がんの抑制に効果的といわれており、岡山県真庭市では中高生を対象に検査・除菌を実施している。豊前市でも中学生を対象に九州初の取組みとして検査・除菌をする考えがないのか伺いたい。

市長 中学生などの若年層に関して、ピロリ菌除菌をすることでどのような反応が出るのかまだ実証されていないと聞いています。先行するのもよいが、思わぬことが起きぬよう慎重に考えていかねばと思っています。

日本人の各年齢層によるピロリ菌感染率



出典：日本ヘリコバクター学会誌、5-16、2003

老朽化した公営住宅の建替えを

鎌田議員 公営住宅は、住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸することを目的として設置されている。堀立団地や上町団地等はかなり古く、中に入ったらビツクリするくらいのところもある。もっと家賃を安くしてもいいと思うが、執行部の考えを伺いたい。

建設課長 家賃については公営住宅法などで規定された算定方法であり、近傍同種の住宅家賃以下であるため現状の家賃でいきたいと考えている。

鎌田議員 市内の公営住宅はどこも古くなってお

り、また抽選から漏れた人などが待っている上町南団地の3棟目の建設について、執行部の方針を伺いたい。

建設課長 当初の予定では、現在ある上町団地の北側に後期建替え計画として3棟目、4棟目、5棟目を建設する計画だったが、前期建替え計画終了後、事業計画の見直しにより現在休止状態となっている。

鎌田議員 3棟目以降の建設に関して、前市長は財政面などで公的なイメージは終わったという発



上町南団地

言を以前していたと思う。

しかし、国は老朽化した公営住宅建替えに向けた支援を拡充するとの方針を示している。それらの支援を活用した3棟目建設を市長はどのように考えているのか伺いたい。

市長 行政の継続性という観点から前市長の発言を引き継がなければと思う。しかし、建設を期待している人がいるのも事実だ。国の支援なども考慮して新しい方向性を探っていくかなければと感じているところだ。

きめ細かな 市民サービスの充実を

榎本議員 地域が抱えている水路や生活道などの行政が取り組みにくい事業や課題に関し、地域に市税の1%程度を財源として交付し、地域自らで問題等を解決していく地域づくり支援事業というものがある。山口市等で実施している市民サービスだが、豊前市でもこのような市民サービスを実践してはいいかがか。

市長 豊前市でも各地域が自立し、支え合っていくことが理想だと思う。市が直接する事業とは別に自分たちのことは自分たちでという機運も大切だと思うので、今後考えていきたいと思う。

榎本議員 財源の市税1%は約3200万円になる。それを還元するとなると納税の意識が高まり滞納が減ると思うので、ぜひ実施をお願いしたい。次に、ごみの収集に関して、豊前市では祝日に



ごみを収集したり、しなかつたりと統一性がなく、市民は大変困惑している。26年度から祝日も必ず収集するようにしてほしいと思うが、市長の見解を伺いたい。

市長 ごみ処理に関しては、吉富町及び上毛町と組合を設置しており、2町及び組合の合意が必要

だ。26年度からの実施に向け合意を得るべく努力していきたい。

榎本議員 また、図書館の年末年始の休館日は12月28日～1月3日までのようだが、学生たちから年末年始に図書館で静かに勉強したいから開けてほしいとの声がある。使いやしく魅力ある図書館にするため、休館日を短縮してはいいかがか。

教育課長 今年度の予定は決定しているので次年度以降、指定管理者と協議し前向きに検討したい。

一般質問

そこのが聞きたい・なんとかがしたい

『豊明会』の一般質問



鈴木 正博



平田 精一



黒江 哲文

【質問項目】

- ① 公共下水道の整備及び水洗化率の向上
- ② 今後の行政
- ③ 豊前市営グラウンド等の施設利用
- ④ 豊前市高齢者保健福祉計画
- ⑤ 第5次豊前市総合計画の進捗
- ⑥ まちづくり
- ⑦ 教育行政

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

公共下水道事業の赤字解消に向けて

平田議員 現在の、豊前市の公共下水道事業の財政状況を、お聞きしたい。

上下水道課長 平成24年度決算で、営業収支は（使用料収入ー汚水処理費）1億2795万円の赤字。事業全体では、一般会計から2億6747万円の繰入れを含め約6033万円の赤字となった。なお、水洗化率は70・3%である。

平田議員 また、大西地区の農業集落排水施設事業についても、一般会計から赤字補てんをしているようだが、現状をお聞きしたい。

上下水道課長 営業収支は（使用料収入ー汚水処理費）1256万円の赤字。事業全体では、一般会計から約2069万円の繰入れを含め約611万円の赤字となった。なお、水洗化率は84・8%である。

平田議員 ここまで赤字

を含んでいる事業なので、今後の整備計画をはっきりと示す必要があると思うが、いかがか。

上下水道課長 先般、アンケート調査を実施したところ、公共下水道区域内での接続希望者が少ないことが分かった。今後は民意に沿った縮小、また凍結を計画している。

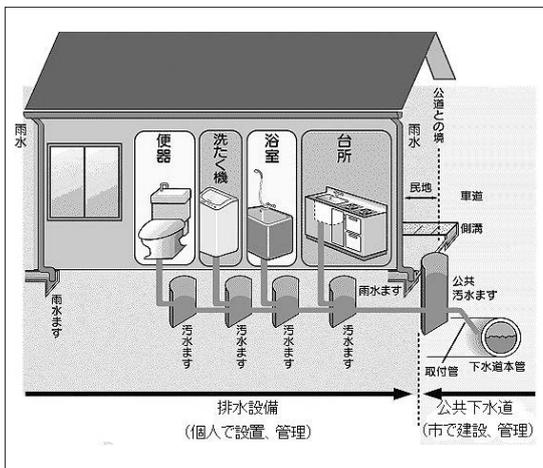
平田議員 旧来式の単独浄化槽について、保守点検等を行っていない家庭

があると聞かすが、いかがなものか。

上下水道課長 監督官庁である県保健所は、廃止も含め約400基のうち、332基が保守契約をしているとの話である。今後は、各世帯に公共下水道への接続や合併浄化槽への切換えをして頂くよう検討している。

平田議員 合併浄化槽について、設置や推進を図るため、市から設置費用の一部を補助しているが、この補助金を増やすといった考えはないのか。

上下水道課長 財政面を考慮し、関係課と協議したい。



公共下水道のしくみ

今後の高齢化社会 に向けて

入事業などを活用し、高齢者が地域で安心して暮らせる環境を整える支援だと認識している。

黒江議員 また、そのような体制づくりには、平成24年度より市の運営となった、豊前市地域包括支援センターの役割が重要になってくるかと思うが、いかがか。

市長 高齢者が安心して暮らし、お互い支え合い、コミュニケーションを持てる地域を作るためには、やはり責任者がどのようになっているかをうまく使っていくのが、大きな使命だと考える。

黒江議員 市が介護予防事業で取り組んでいる、「いきいきエアロ塾」の事業内容と成果をお聞きしたい。

福祉課長 指導者の下、エアロバイク・マット運

動等を行い、運動機能の向上や維持を図る事業で、市内4箇所、60名程の参加者があった。体力測定では測定値の上昇がみられ、一定の効果があったと思われる。今後は、市内全域で自主的に取り組めるような体制づくりが必要と考える。

市長 今年度は半年間、各地域で試行し、参加者からは続けてほしいといった声を多く聞いた。今後は、財政面や指導者の養成等も含めてしっかりと検討していきたい。

黒江議員 多くの人が参加して良かったと大変喜んでいたので、今後も続けてもらいたいと思う。こういった活動を通して高齢者が元気になることで、介護予防・医療費削減にもつながると考える。

黒江議員 多くの人が参加して良かったと大変喜んでいたので、今後も続けてもらいたいと思う。こういった活動を通して高齢者が元気になることで、介護予防・医療費削減にもつながると考える。

福祉課長 団体等のボランティア活動、民生委員や老人クラブの活動、シルバー人材センターの事業、さらに民間のサービ



豊前市高齢者保健福祉計画

適切な教育行政を

けながら学習している。

鈴木議員 そこで、保育園などへ専門の方を派遣し、小学校の就学前の段階にそういった子どもたちへの対応ができればいいと思うが、いかがか。

教育長 議員ご指摘のとおりで、早期から教育相談や支援、関係機関との連携や情報提供の充実を図りながら対応していきたい。また、適正就学指導委員会に保護者の方にも参加してもらい適正な指導を行いたい。

鈴木議員 文部科学省は来年度から市区町村教育委員会の判断により、全国学力テストの学校別の結果を公表できると発表した。私は、学校間の競争をあおるような公表はすべきでないと思うが、いかがか。

教育長 豊前市教育委員会として、公表については十分論議し、結論を出したいと思う。

鈴木議員 最近、自閉症・学習障害・発達障害等を持った子どもが多くなり、先生方も苦慮していると聞く。豊前市は適正就学指導委員会を設置し、障害に配慮した特別支援教育を行っているが、現況をお聞きしたい。

教育課長 小・中学校14校のうち9校に10クラスの特別支援学級があり、22名が在籍している。地元小学校で勉強したいという子どもは、保護者や適正指導教員の指導を受



小学校の授業風景

鈴木議員 11月に開催した議会報告会で、旧築上中部高校跡地に統合中学校をという答申が平成17年になされて以降、進展がないので、いったんこの答申を白紙に戻し、他の活用法を検討してはどうかという意見があった。教育委員会は、跡地利用について、早急に結論を出すべきだと思うが、いかがか。

教育長 平成24年度に特任校を制定したばかりなので、教育委員会としては3年間の推移を見守りたいと思う。3年目に入る来年度には、改めて通学区域審議会等を立ち上げて、議論していくことになると思う。

一般質問

そつが聞きたい・なんとかしたい

『新社会』の一般質問



山崎 廣美



尾澤 満治



秋成 茂信



岡本 清靖



安江 千賀夫

【質問項目】

- ① 市民会館の建替え
- ② 築上中部高校跡地の取扱い
- ③ 公共下水道整備事業
- ④ 市バス事業の展望
- ⑤ これからの豊前をささえる課題
- ⑥ 道路環境の整備
- ⑦ 活力あるまちづくり
- ⑧ 教育環境の整備
- ⑨ 市民との協働によるまちづくり

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていただきます。お気軽にご閲覧ください。

市民会館の建替え 知恵を絞って実現を

安江議員 6月議会で、

老朽化が進む市民会館の長期使用可能性の調査をわざわざする必要はないと指摘し、予算執行を保留するよう申入れをした。その後、市は打音検査を行ったようだが、検査結果をお聞きしたい。

教育課長 現在の強度は、設計当時の75%まで減少していることが分かった。そのため、2階席への立ち入りを禁止している。

安江議員 私は、9月議会の一般質問で建替えの是非を含め、検討委員会を設置すべきだと指摘したが、その後の進捗状況を、お聞きしたい。

教育課長 まず、庁内のワーキングチームで、市内の全公共施設の維持、補修、管理を含めた経費のシミュレーションを行い、統廃合・リニューアル等を含めたところで、建替えの優先順位を検討したい。

安江議員 また、それに併せて、財源の確保についても考える必要があると思うが、いかがか。

教育課長 国・県の補助金について調査したところ、今の時点で該当するものがなかった。現在、国では施設の取壊しについて地方債を特例的に認める検討に入っており、市としても国の動向を注視するとともに、補助制度について国・県に強く

要請していききたい。安江議員 市民会館の建替え問題について、市長としての見解をお聞きしたい。

市長 私たち執行部としても、その必要性を十分に認識している。ただ市内の公共施設の大半が老朽化していることも含め、きちつと精査した上で考えていきたい。まず何が最優先かを見極め、議員や市民の意見を注視しながら進めたい。

安江議員 すばらしい市民会館ができればいいと希望しているので、ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。



豊前市民会館

防災行政無線の有効活用を

岡本議員 防災行政無線は、多額のお金を投入し整備したが、その有効活用として、防災行政無線以外に、地域内でのイベント情報などの発信ができればいいと思うが、いかがか。

総務課長 防災行政無線は本来、有事や大規模災害により、緊急性、重大性のある事項を市民に情報伝達するための設備であり、それが、最優先だと考える。また、市の行政情報などには必要に応じて、発信しているところだ。

岡本議員 戸別受信機等

を置いて、コミュニティなど地域での情報伝達ができるような設備があるといいのだが、市長の考えは、いかがか。

市長 コミュニティ放送としての活用であれば、FMラジオなど、1戸1戸きちんと情報が伝達できる手段を選ぶべきだと考える。財源の問題も考慮し、幾つかの選択肢があるので研究をしていきたいと思う。

岡本議員 防災行政無線を使って、地域から放送ができると聞いたが、この仕組みをお聞きしたい。

総務課長 屋外拡声子局（スピーカー）が市内に



防災行政無線（市役所内にある親局）

62か所あり、それぞれの子局から放送できるようになっている。これは、災害発生時の使用に限定して、取扱いができる方は、区長、自主防災組織の会長、公民館長、消防団の分団長に限られている。

岡本議員 この使用方法だが、操作訓練などを行ったのか、お聞きしたい。

総務課長 各地区の区長会において説明を行い、区長と公民館長を対象に実施した。消防団の分団長も1度訓練をしているが、開局後は行っていないことから、早急に実施したいと考える。

歩道や通学路の環境整備を

尾澤議員 市の道路構造の基準に関する条例には、歩行者専用道路の幅員は、地域及び歩行者の交通の状況を勘案して2m以上とする規定があるが、その見直しは、国から地方へ権限移譲されたことにより市町村でできるようになった。そこで、地域及び歩行者の状況を勘案し、身の丈にあった歩道づくりを考えるべきだと思うが、いかがか。

市長 地域の特性や実態に合わせて、柔軟に対応していくべきだと考えている。条例改正についても取り組みたいと思う。

尾澤議員 基本的に、自転車は歩道を通行することができないが、人通りが少ない所など、地域の了解が得られれば、自転車が通行可能な区間に指定できるのか、お聞きしたい。

建設課長 道路交通法には、自転車が歩道を通行

できるのは、13歳未満の児童及び幼児、70歳以上の高齢者、一定の障害を有する身体障害者となっていて、それ以外の方の通行は違反である。議員ご指摘の件については、警察と協議しながら通行できるように要望していきたい。

尾澤議員 県道豊前・犀川線の千束の交差点は、通学路もあり、朝夕はかなり渋滞していて、とて



千束交差点

も危険である。今後、東九州自動車道が開通すれば、観光地のアクセスとして更なる混雑が予想されることから、地元は県のほうに交差点拡幅の陳情書を出している。市としても、県に要望していただきたいと思うが、市長の考えを、お聞きしたい。

市長 議員ご指摘の件については、これまでも県のほうに要望してきたところだが、今後も市として議会の皆様のご協力を頂きながら、しっかりと要望活動を行っていきたい。

一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『同志会』の一般質問



渡邊 一



爪丸 裕和



福井 昌文

【質問項目】

- ① 教育問題
- ② まちづくり
- ③ 福祉問題
- ④ 定住促進事業
- ⑤ 窓口業務
- ⑥ 農業問題
- ⑦ 工業団地の建設

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

宇島駅前の道路新設 その後の進展は

福井議員 私たちが視察に行くと、駅に降り立ったとき、駅前が美しく整備されていることが多い。しかし、残念ながら、宇島駅は駅前の整備がなされていないために、せっかく整備された図書館やフレスポへのアクセスも分かりづらい。駅前は、まちの顔でもある。執行部の考えをお聞きたい。

まちづくり課長 中央通商店街振興組合から要望書が出され、駅前については、商店街、平池公園、市民会館、フレスポなどをどのように関連付けて中心街を活性化していくか考えていかなければならないという意見が添えられていた。駅前道路のような大規模事業については、市としては非常に厳しいと考えている。実現可能な事業について地元と協議をしていきたい。

福井議員 この件については、この数年間で何度か取り上げられ、当時の釜井市長は、宇島駅と築上北高跡地を結ぶ道路はすぐにでもという気持ちであると答弁している。その後進展が見られないようだが、どのようにお考えか、お聞きたい。

まちづくり課長 宇島駅前線は、中心市街地活性化基本計画の中の中心的な事業であるが、財政上の問題もあり、計画は進んでいない。

※ 過去の本会議での答弁と食違いがあるため2時間半中断。
(再開後)

市長 前市長はすぐにもと答弁しているが、がんばれる方向に行っていないのが現状だ。商店街だけでなく、地域の皆さんの声もしっかり聞いてどのようにすべきか、方向付けをしていきたい。



宇島駅前

全国学力テストを どう活かすか

委員会として、議論の土俵を上げて、協議していきたい。

爪丸議員 この学力テストの趣旨は、競うことではなくて、むしろ学力の向上を図ることにあると思うが、全国平均あるいは県平均を下回った教科に対してどのような取組みをしていくつもりなのか、お聞きしたい。

教育課長 豊前市学力向上推進会議（各小・中学校に配属された学力向上担当教員で構成）を中心に、学力向上に向けた協議検討を行っているが、今後は、シミュールで分かりやすい授業、視覚に訴える授業を目指し、学力向上を図っていききたい。

爪丸議員 大分県の豊後高田市や高知県では、テストの結果を受けて、独自の対策を講じ、一定程度の成果が出ているようだ。こういった事例を参考にし、学力向上に努めていただきたいが、いかがか。

教育長 教育委員会としては、明るく元気で、人間性豊かな子どもに育てるということを第一の目標としているが、学力向上に向けて学校現場とともに努力していききたい。

爪丸議員 学力向上を図るとともに、地域や家庭と連携をとりながら、人を思いやる心の育成にしっかりと取り組んでいけることを期待する。

爪丸議員 文部科学省が行った全国学力テストの成績公表に関するアンケートでは、公表すべきという意見が、都道府県教育委員会や知事会、また保護者は40%台、ところが、市町村教育委員会は17%という結果が出ている。直接学校運営に携わる機関としては、慎重にという考えの表れと思われるが、豊前市では、成績公表についての保護者の考えを把握しているのか、お尋ねしたい。



中学校の授業風景

生活保護費の支給 チエツクは万全か

渡邊議員 福祉の問題に入る前に、お尋ねしておきたいことがある。

最近頻発する自然災害に対し、日本列島の強度化に取り組む必要があると思うが、瀬戸内の一角を占める周防灘地域をどう思っているか、市長の見解をお聞きしたい。

市長 私たちが住むこの地域は、歴史的にも災害の少ない、また、治安もよく、穏やかな風土と素晴らしい自然を持った地域だと認識している。

渡邊議員 市長がおっしゃるように周防灘地域は素晴らしいところだと思う。これからの若い世代にとって夢のある豊前市にしていこうではないか。それでは、生活保護の質問に入るが、中間市の生活保護費不正受給事件で、元職員に求刑がなされたという記事が新聞に出ていた。生活保護制度自体は、日本国憲法に基

づく素晴らしい制度だと思いが、市の職員が不正を行うなど言語道断だ。

豊前市はどういう体制・仕組みになっているのか。

福祉課長 福祉課保護係が所管しており、係長・係員合わせて5人体制だ。生活保護の認否については、国が定めた基準に従って調査をし、最終的には福祉課長が決定をする流れになっている。

渡邊議員 各地域に民生

委員がいるが、この方たちは、生活保護とは全く関係がないのか。

福祉課長 民生委員には、生活実態の確認という意味で、意見書を提出していただいている。

渡邊議員 憲法に基づいて、お互いに助け合おうという立派な制度なので、不正が生じないように、しっかりとチエツクができる方法がないか、研究してはいいかがか。

市長 職員の意識改革を図るとともに、職員に対する指導を徹底し、適切な人事配置を行うことで防げる部分もあると思う。



福祉課窓口の様子

一般質問

そここが聞きたい・なんとかしたい

『無党派』の一般質問



宮田 精一

【質問項目】

- ① 職員の採用及び研修の問題
- ② 豊前市の中小企業政策と地域経済の問題
- ③ 子どもの医療費無料化枠の拡大

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

職員採用・研修のあり方は

宮田議員 市職員の採用においては、縁故や情実採用が絶対にあつてはならないと思う。採用試験で外部からの圧力が働かないようにするため、どのような方法で透明性の確保を行っているのか伺いたい。

総務課長 市職員の採用については、福岡県自治振興組合が取りまとめて実施している統一採用試験に参加しており、第三者が関与することで透明性を高めている状況だ。

宮田議員 また、市には正規職員以外に嘱託や臨時の職員がいると思う。それらの職員の採用方法についても伺いたい。

総務課長 嘱託及び臨時職員については登録制で、毎年3月に市報やホームページを通じて公募しており、登録者の中から各課が資格や適性をみて面接により厳正に選考している状況だ。

宮田議員 採用後の職員研修に関して、豊前市と築上町が航空自衛隊築城基地で新人研修を行ったようだが、誰が企画し、誰の判断で行ったのか、お聞きしたい。

市長 県議時代、市役所来庁のときに市職員は「挨拶がないな」とか「声が小さく元気がないな」との印象を持っていた。自衛隊の持つ素晴らしさを少しでも体験し、元気の良い、そして市民に奉仕

できる市職員になってもらいたいの思いで、私自身が企画し研修を行った。

宮田議員 今回の自衛隊での研修は甚だ疑問だ。新人職員のためには社会人としてのマナーや接遇などの研修が必要で、自衛隊ではそのような研修ができないと思う。

市長 参加した職員の話をお聞くと「今までにない研修ができて非常に良かった」や「身も心も引き締まった」などの声が挙がっており、そのような声を受け止め来年度も是非やりたいと思つてるところだ。



築城基地での研修の様子

第2回議会報告会 を開催しました!!

日 程	場 所	参 加 者	アンケート回収率
11月11日(月)	中央公民館	58人	50%
11月12日(火)	角田公民館	113人	67%
11月13日(水)	合河公民館	47人	74%
11月14日(木)	三毛門公民館	65人	55%

昨年11月11日～14日に議会報告会を開催しました。

この報告会は、市民の皆さんに議会の中で審議・議論したことについて報告をしたり、市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行うなど市民の皆さんとの対話を通じて信頼関係を築くことを目的に行うものです。

今年で2回目となる報告会では、議会側から『平成25年度の当初予算』と『平成24年度の決算』に関して、「どのような審議をしたのか」また「議会としてどのような申入れをしたのか」などを中心に報告をしました。

その後、あらかじめ出していたいただいていた各地域の課題や要望についての意見交換を行いました。住民から批判の声が多かったのが、4月から運用が開始された防災行政無線に関する問題で、「聞き取りづらい」や「雨が降ったら全く聞こえない」などの意見がありました。

また、参加者にご記入いただいたアンケートには、「ぜひ報告会を続けてほしい」や「参加してよかった」といった意見が数多くあり、私たち議員も大変心強く感じております。

なお、それぞれの会場で皆さんからいただいたご意見・ご要望については、執行部にも伝えておりますし、今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。



総務・文教厚生・産業建設の3常任委員会合同で視察研修

11月20日～21日に総務・文教厚生・産業建設の3常任委員会の委員は山口県光市と山口市で視察研修を実施しました。

光市では、農業振興拠点施設「^{くりや}里の厨」に関して視察研修を行いました。「里の厨」は、地産地消の推進や農地の荒廃化の防止、生産者と消費者の交流促進による観光振興の強化などにつなげるための拠点施設で、光市の農業に活力を与える役割を担っていました。

また、山口市では「協働によるまちづくり」について研修を行いました。従来型の行政サービスでは解決困難な地域の課題に対し、市税収入の一定額を各地域に交付することにより、それぞれの地域が主体的に解決を図っていくというまちづくりの手法を学びました。



光市の農業振興拠点施設「里の厨」での視察風景



山口市役所での視察風景

第3回九州周防灘地域議会連携協議会を開催

11月22日に3回目の九州周防灘地域議会連携協議会（中津市、宇佐市、豊後高田市、豊前市、築上町、上毛町、吉富町の議長及び副議長で構成）を豊前市のト仙の郷で開催しました。

当日は、中津市商工観光部軍師官兵衛推進室長の濱田光国氏を講師に招き、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」に関する中津市の取組みについて説明を受けました。

続いて、求菩提資料館を視察し、館長より求菩提の歴史や官兵衛に関する史料について説明を受けました。



濱田光国氏の説明を聞く議員

12月定例議会より本会議のインターネット中継がいよいよ始まりました。ご覧になった市民の皆さんも多かったのではないのでしょうか。インターネット中継に対するご意見をぜひ議会に寄せていただきたいと思います。

より開かれた議会を目指す意義と同時に議員資質の向上にもつながるのではないのでしょうか。私自身も、中継開始により市民の皆さんから見られているのかと思うと身の引き締まる思いです。厳寒期を迎えておりますが、お元気で過ごされますようにご祈念いたします。

安江 千賀夫



次の定例市議会は
3月です

● 議会を傍聴しましょう ●

市議会の様子を知る最もよい方法です。
多数の方の傍聴をお待ちしています。

市議会だよりは資源保護のため再生紙を使用しています。

■ 編集：編集委員会
（編集委員）

委員長：尾澤満治 副委員長：安江千賀夫
委員：黒江哲文、平田精一、鈴木正博

■ 印刷：上森印刷所